

東海道川崎宿起立400年

400年前の東海道の風景が蘇るイベント。

「六郷の渡しまつり」が
2023年10月、六郷橋のたもとで行われました。

江戸時代、五街道の一つとして整備された東海道。

江戸から川崎宿に向かうために
多くの人たちがこの多摩川を船で渡りました。

この日は1日限りで
多摩川を周遊するクルーズ船が出航。

参加者はおよそ1時間、
船から眺める多摩川の景色を楽しみました。
(クルーズ船からの眺めの様子)

(主催者)
「東海道の江戸から京に向かう入口ですね、川崎宿。
川崎市民の皆さんにここ川崎が東海道の入り口なんだと
認知していただければと思います。」

江戸時代に設置され、
2023年で400年を迎えた宿場の一つ、川崎宿。
(東海道川崎宿中間灯点灯式の様子)

10月には六郷橋から下並木までの
およそ2.5キロの道沿いに中間灯を設置。
宿場らしい街並みを再現しました。

また、東海道沿いの史跡などをめぐるスタンプラリーや
東海道の歴史・文化・伝統を後世に伝えるための
シンポジウムが行われました。